

※新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、今回の委員会は、各委員への持ち回り審議をもって委員会に代えたため、【議事次第】については、参考資料として掲載しています。

資料-1

第11回

長安ロダム環境モニタリング委員会

【 議事次第 】

1. 議 事

- (1) 環境モニタリング調査実施状況について
- (2) 令和2年度モニタリング調査の評価結果について

長安ロダム 環境モニタリング委員会

規約

(名 称)

第1条 本会は、「長安ロダム 環境モニタリング委員会」（以下「委員会」という）と称する。

(目 的)

第2条 委員会は、長安ロダム改造事業による環境への影響検討結果に基づく環境保全措置及び環境配慮事項の具体的な手法に関して事業者へ指導・助言を行うことを目的とする。

(構 成)

第3条 委員会は、別紙に掲げる委員により構成し、四国地方整備局那賀川河川事務所長が委嘱する。

2. 委員の任期は原則として2年とし、再任は妨げない。なお、任期満了が年度途中となる場合の任期満了日は、任期最終年度の3月31日とする。

(任 務)

第4条 委員会は、次の事項に関する指導・助言を行う。

- ① 長安ロダム改造事業による環境への影響検討結果に基づく環境保全措置の具体的な手法に関する事項
- ② 長安ロダム改造事業による環境への影響検討結果に基づく環境配慮事項の具体的な手法に関する事項
- ③ その他、委員会の目的を達成するために必要な事項

(委員長)

第5条 委員会は、委員の互選により委員長を置くものとする。

(会 議)

第6条 委員会は、委員長の発議により開催する。

2. 委員長は、委員会の会務を掌理する。
3. 委員長は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、四国地方整備局那賀川河川事務所内に置く。

(雑 則)

第8条 この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定めるものとする。

(付 則)

1. この規約は、平成26年8月25日より施行する。
2. この規約は、平成29年2月8日より施行する。

(別紙)

長安口ダム 環境モニタリング委員会 委員名簿

五十音順、敬称略

氏名	所属	備考
河口 洋一	徳島大学大学院 准教授	
木下 覺	徳島県植物誌研究会 会長	
小林 實	(元) 河川・溪流環境アドバイザー	
松田 春菜	四国大学 講師	
山田 量崇	徳島県立博物館 学芸係長	
山中 亮一	徳島大学 講師	
湯城 豊勝	阿南工業高等専門学校 名誉教授	◎

◎：委員長